

令和 5 年 5 月 31 日

厚生労働大臣
(国立医薬品食品衛生研究所長) 殿
(国立保健医療科学院長)

(研究代表者)

研究者の住所	〒631-0805 奈良市右京三丁目7-14
所属機関名	国立大学法人大阪大学
部署・職名	歯学部附属歯学教育開発センター・教授
氏名	長島 正

交付決定日及び文書番号：令和4年6月16日

厚生労働省発科0616第26号

補助事業名 : 令和4年度厚生労働科学研究費補助金（政策科学総合研究事業（臨床研究等 ICT 基盤構築・人工知能実装研究事業））

研究課題名（課題番号）：歯学教育及び歯科医師臨床研修において一貫して利用できるオンライン評価システムの開発に関する研究（22AC1001）

研究実施期間 : 令和4年4月1日から令和5年3月31日まで
2年計画の1年目

国庫補助金精算所要額 : 金 13,992,561 円也（※当該研究課題に係る総額を記載すること）
（うち間接経費 3,459,000 円）

上記補助事業について、厚生労働科学研究費補助金等取扱規程（平成10年4月9日厚生省告示第130号）第16条第2項の規定に基づき下記のとおり研究成果を報告します。

記

1. 研究概要の説明

(1) 研究者別の概要

所属機関・部署・職名	氏名	分担した研究項目及び研究成果の概要	研究実施期間	配分を受けた研究費	間接経費
大阪大学・歯学部・教授	長島 正	研究の総括を担当	令和4年4月1日～令和5年3月31日	9,633,561	3,459,000
鹿児島大学・医歯学域歯学系・教授	田口 則宏	評価システムに必要な仕様を作成	令和4年9月1日～令和4年12月28日	200,000	0
北海道医療大学・歯学部・教授	長澤 敏行	臨床実習に関する現状の把握	令和4年7月15日～令和4年10月31日	100,000	0

令和 5 年 5 月 31 日

厚生労働大臣
(国立医薬品食品衛生研究所長) 殿
(国立保健医療科学院長)

(研究代表者)

研究者の住所	〒631-0805 奈良市右京三丁目7-14
所属機関名	国立大学法人大阪大学
部署・職名	歯学部附属歯学教育開発センター・教授
氏名	長島 正

交付決定日及び文書番号：令和4年6月16日

厚生労働省発科0616第26号

補助事業名 : 令和4年度厚生労働科学研究費補助金（政策科学総合研究事業（臨床研究等 ICT 基盤構築・人工知能実装研究事業））

研究課題名（課題番号）：歯学教育及び歯科医師臨床研修において一貫して利用できるオンライン評価システムの開発に関する研究（22AC1001）

研究実施期間 : 令和4年4月1日から令和5年3月31日まで
2年計画の1年目

国庫補助金精算所要額 : 金 13,992,561 円也（※当該研究課題に係る総額を記載すること）
（うち間接経費 3,459,000 円）

上記補助事業について、厚生労働科学研究費補助金等取扱規程（平成10年4月9日厚生省告示第130号）第16条第2項の規定に基づき下記のとおり研究成果を報告します。

記

1. 研究概要の説明

(1) 研究者別の概要

所属機関・部署・職名	氏名	分担した研究項目及び研究成果の概要	研究実施期間	配分を受けた研究費	間接経費
大阪大学・歯学部・教授	長島 正	研究の総括を担当	令和4年4月1日～令和5年3月31日	9,633,561	3,459,000
鹿児島大学・医歯学域歯学系・教授	田口 則宏	評価システムに必要な仕様を作成	令和4年9月1日～令和4年12月28日	200,000	0
北海道医療大学・歯学部・教授	長澤 敏行	臨床実習に関する現状の把握	令和4年7月15日～令和4年10月31日	100,000	0

令和 5 年 5 月 31 日

厚生労働大臣
(国立医薬品食品衛生研究所長) 殿
(国立保健医療科学院長)

(研究代表者)

研究者の住所	〒631-0805 奈良市右京三丁目7-14
所属機関名	国立大学法人大阪大学
部署・職名	歯学部附属歯学教育開発センター・教授
氏名	長島 正

交付決定日及び文書番号：令和4年6月16日

厚生労働省発科0616第26号

補助事業名 : 令和4年度厚生労働科学研究費補助金（政策科学総合研究事業（臨床研究等 ICT 基盤構築・人工知能実装研究事業））

研究課題名（課題番号）：歯学教育及び歯科医師臨床研修において一貫して利用できるオンライン評価システムの開発に関する研究（22AC1001）

研究実施期間 : 令和4年4月1日から令和5年3月31日まで
2年計画の1年目

国庫補助金精算所要額 : 金 13,992,561 円也（※当該研究課題に係る総額を記載すること）
（うち間接経費 3,459,000 円）

上記補助事業について、厚生労働科学研究費補助金等取扱規程（平成10年4月9日厚生省告示第130号）第16条第2項の規定に基づき下記のとおり研究成果を報告します。

記

1. 研究概要の説明

(1) 研究者別の概要

所属機関・部署・職名	氏名	分担した研究項目及び研究成果の概要	研究実施期間	配分を受けた研究費	間接経費
大阪大学・歯学部・教授	長島 正	研究の総括を担当	令和4年4月1日～令和5年3月31日	9,633,561	3,459,000
鹿児島大学・医歯学域歯学系・教授	田口 則宏	評価システムに必要な仕様を作成	令和4年9月1日～令和4年12月28日	200,000	0
北海道医療大学・歯学部・教授	長澤 敏行	臨床実習に関する現状の把握	令和4年7月15日～令和4年10月31日	100,000	0

東京医科歯科大学・大学院医歯学総合研究科・教授	新田 浩	評価システムに必要な仕様を作成	令和4年9月1日～令和4年12月28日	100,000	0
日本歯科大学・生命歯学部・准教授	大澤 銀子	臨床実習に関する実態調査	令和4年5月15日～令和4年8月31日	100,000	0
新潟大学・医歯学総合病院・助教	秋葉 奈美	臨床実習に関する実態調査	令和4年5月15日～令和4年8月31日	100,000	0
九州大学・歯学研究院・教授	和田 尚久	臨床実習に関する実態調査	令和4年5月15日～令和4年8月31日	100,000	0
東京大学・医学部附属病院・教授	木内 貴弘	評価システムの仕様の検討とシステムの開発	令和4年5月1日～令和5年3月31日	100,000	0
大阪大学・歯学部附属病院・准教授	野崎 剛徳	臨床実習に関する現状の把握	令和4年7月15日～令和4年10月31日	100,000	0

(2) 研究実施日程

研究実施内容	実 施 日 程																			
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月								
臨床実習に関する実態調査	← 長島 正 →				← 大澤銀子 →				← 秋葉奈美 →				← 和田尚久 →							
臨床実習に関する現状の把握					← 長島 正 →				← 長澤敏行 →				← 野崎剛徳 →							
評価システムに必要な仕様の検討	← 長島 正 →				← 木内貴弘 →				← 田口則宏 →				← 新田 浩 →							
評価システムの開発													← 長島 正 →				← 木内貴弘 →			

(注) 研究代表者、研究分担者別に作成すること

(3)．研究成果の説明

研究の目的：

令和3年3月に歯科医師臨床研修制度が改正され、到達目標が大幅に見直されたことを受け、厚生労働科学研究費補助金事業の研究課題「シームレスな歯科医師養成に向けた歯科医師臨床研修の評価についての研究」（令和2～3年度）において、令和4年度から実施される新しい到達目標に対応した具体的な評価内容や評価方法が提示された。しかし、従来から用いられてきた歯科臨床研修評価システム（DEBUT）をはじめとする既存の評価システムでは新しい評価方法に対応できないことから、新システムの開発が求められている。そこで本研究では、前述の厚生労働科学研究費補助金事業の研究成果を反映しながら、ICTを活用した卒前・卒後で一貫した評価システムの開発を目的として実施した。

研究結果の概要：

全国の歯科大学、歯学部のシラバスによる臨床実習の実体調査および臨床実習担当者への照会によって臨床実習との連携を意識した臨床研修の学習項目として、153項目からなる共通の評価項目を策定するとともに、これらの項目と臨床研修到達目標のC領域との関連性について示すことができた。さらに、これらの結果にもとづきオンライン評価システムの開発をすすめ、学習履歴管理システム及び、臨床研修評価システムを整備し、これらを連携して動作させることで、臨床実習から臨床研修に一貫して活用できるオンライン評価システムを開発した。

研究の実施経過：

まず、各大学のシラバスから抽出した評価項目を診療内容ごとに分類し、さらに先行研究である「シームレスな歯科医師養成に向けた歯科医師臨床研修の評価についての研究」において評価の視点・観点として例示されている評価項目と照合することによって、153項目からなる共通項目を作成した。これら153項目を策定するにあたり、項目間の粒度の差が可能な限り小さくなるよう努めたが、様々な条件下にある多くの施設にて利用可能であることを優先させた結果、それらの差を埋めることは非常に困難であった。次に、これらの学習項目と歯科医師臨床研修の研修目標のC領域との関連付けを検討し、各々の研修目標に対して1～26個の学習項目が関連付けられた一覧表を作成した。

さらに、新しく開発する評価システムの要件について検討し、研修歯科医が日々経験する症例を記録する学習履歴管理システムと、研修目標への到達度を評価する臨床研修評価システムの2つのシステムとして開発することとした。引き続き、これらの要件を満たすために必要なシステムの仕様について検討し、それに従ったシステム開発を委託業者に依頼した。

本システムは、令和5年3月末に評価版システムが納品され、令和5年度には実際の臨床研修にて使用できるようになっている。

研究成果の刊行に関する一覧表：現状では該当なし

研究成果による知的財産権の出願・取得状況：該当なし

研究により得られた成果の今後の活用・提供：

今年度の研究成果として構築された臨床研修評価システムは、評価版の位置づけではあるが実際の臨床研修にて利用可能なレベルまで仕上がっている。今後は本システムを臨床研修の現場で使用するとともに、利用者からの改善に対する要望などを聴取し、評価システムとしての完成度を高めるとともに、臨床実習・臨床研修における標準的な評価システムとしての地位確立を目指し、研究を継続する予定である。

2. 厚生労働科学研究費補助金研究報告書表紙（別添1のとおり）
3. 厚生労働科学研究費補助金研究報告書目次（別添2のとおり）
4. 厚生労働科学研究費補助金総括研究報告書（別添3のとおり）

5. 厚生労働科学研究費補助金分担研究報告書 (別添4のとおり)
6. 研究成果の刊行に関する一覧表 (別添5のとおり)
7. 研究成果による特許権等の知的財産権の出願・登録状況
(総括研究報告書、分担研究報告書の中に、書式に従って記入すること。)
8. 健康危険情報
該当なし
9. 厚生労働科学研究費における倫理審査及び利益相反の管理の状況に関する報告 (別添のとおり)

別添 1

令和 4 年度厚生労働科学研究費補助金

政策科学総合研究事業（臨床研究等ICT基盤構築・人工知能実装研究事業）

歯学教育及び歯科医師臨床研修において一貫して利用できるオンライン評価システムの開発に関する研究

平成 4 年度 総括・分担研究報告書

研究代表者 長島 正

平成 5（2023）年 5 月

令和4年度厚生労働科学研究費補助金研究報告書目次

目 次

I. 総括研究報告

歯学教育及び歯科医師臨床研修において一貫して利用できるオンライン評価システムの
開発に関する研究 ----- 1

長島 正

(資料1) オンライン評価システム開発の基本方針

(資料2) オンライン評価システムに必要な仕様

II. 分担研究報告

1. 臨床実習と臨床研修で利用できる共通評価項目の策定に関する研究 ----- 8

長島 正、田口則宏、長澤敏行、新田 浩、大澤銀子、秋葉奈美、
和田尚久、野崎剛徳

(資料1) 臨床実習と臨床研修の共通評価項目

(資料2) C領域の到達目標と共通評価項目の紐付け

2. 評価システムの仕様の検討とシステムの開発 ----- 12

木内貴弘

(資料) DEBUT2症例データ交換規約仕様書

III. 研究成果の刊行に関する一覧表 ----- 19

令和4年度厚生労働科学研究費補助金
(政策科学総合研究事業(臨床研究等ICT基盤構築・人工知能実装研究事業))

総括研究報告書

歯学教育及び歯科医師臨床研修において一貫して利用できるオンライン評価システムの開発に関する研究

研究代表者 長島 正 大阪大学教授

研究要旨

令和3年3月に歯科医師臨床の到達目標が大幅に見直され、それまで使用してきた評価システムが使用できなくなったことから、新しい到達目標に対応し、かつ臨床実習から臨床研修へ一貫して利用できる新たなオンライン評価システムの開発が望まれている。そこで、本研究では、臨床実習と臨床研修で利用できる共通の学習項目を策定するとともに、新しいオンライン評価システムの開発を行った。共通学習項目の策定では、各歯科大学・歯学部が公表している臨床実習シラバスを参照・解析し、必要に応じて臨床実習担当者に問合せを行うことで解析に要する時間の短縮を図った。一方、評価システムの開発においては、これまでオンライン臨床研修評価システム(DEBUT)及び電子版臨床実習・臨床研修連携ログブック(e-logbook)の開発・運営に携わってきた経験を生かし、これらのシステムをベースとしつつ、両者をシームレスに連携させることで、1年間という短い期間内に評価版システムとしてオンライン臨床研修評価システムを完成させることができた。

研究分担者 田口則宏・鹿児島大学教授
長澤敏行・北海道医療大学教授
新田 浩・東京医科歯科大学教授
大澤銀子・日本歯科大学准教授
秋葉奈美・新潟大学助教
和田尚久・九州大学教授
木内貴弘・東京大学教授
野崎剛徳・大阪大学准教授

book)を開発した。本システムはスマートフォンの利用によって操作性を改善するとともに、臨床実習と臨床研修の学習履歴をシームレスに管理できる。しかし、臨床実習では複数の歯科大学・歯学部で導入されているものの、臨床研修ではDEBUTとの競合もあり限定的な利用に留まっている。

このような状況の中、令和3年3月に卒前・卒後のシームレスな歯科医師養成課程の整備を目標とし、到達目標の大幅な見直しを含む歯科医師臨床研修制度の改正が実施されたことを受け、厚生労働科学研究費補助金事業の研究課題「シームレスな歯科医師養成に向けた歯科医師臨床研修の評価についての研究」(令和2～3年度)において、令和4年度から実施される新しい到達目標に対応した具体的な評価内容や評価方法が提示された。しかし、DEBUTおよびe-logbookでは提示された評価方法に対応できないことから、新システムの開発が喫緊の課題となっている。

そこで本研究では、全国の歯科大学・歯学部を対象として臨床実習の実施形態および評価方法等について実態調査を行い、各大学が共通して利用できる臨床実習の評価内容及び評価方法を整理する。さらに、これまでDEBUT及びe-logbookの開発・運営に携わってきた経験を生かし、前述の厚生労働科学研究費補助金事業の研究成果を反映しながら、卒前・卒後の評価データの移行、システム利用者階層毎に閲覧可能

A. 研究目的

平成18年度の歯科医師臨床研修制度必修化にあわせ、UMINセンターの協力の下、国立大学附属病院長会議に設置された歯科医師臨床研修問題ワーキングチームでは、厚生労働省が定めた到達目標に準拠し歯科医師臨床研修の評価を正確かつ効率的に行うとともに、国民に対する説明責任を果たすことを目指して、オンライン歯科臨床研修評価システム(DBEBUT)を構築した。本システムは当初、多くの臨床研修施設にて活用されていたが、パソコンでの操作が基本であったことから診療現場での操作性が十分ではなく、使用施設は減少傾向にあるとともに、臨床実習には対応できていない。

一方、診療参加型臨床実習における学習履歴を管理できるシステムとして、研究代表者らは平成25年に電子版臨床実習・臨床研修連携ログブック(e-log

令和4年度厚生労働科学研究費補助金
(政策科学総合研究事業(臨床研究等ICT基盤構築・人工知能実装研究事業))

分担研究報告書

臨床実習と臨床研修で使用できる共通評価項目の策定に関する研究

研究代表者 長島 正 (大阪大学教授)
研究分担者 田口則宏 (鹿児島大学教授)
長澤敏行 (北海道医療大学教授)
新田 浩 (東京医科歯科大学教授)
大澤銀子 (日本歯科大学准教授)
秋葉奈美 (新潟大学助教)
和田尚久 (九州大学教授)
野崎剛徳 (大阪大学准教授)

研究要旨

臨床実習から臨床研修へ一貫して利用できるオンライン評価システムの開発を目的として、共通の学習項目の策定および、評価システムの開発を行った。共通学習項目の策定では、各歯科大学・歯学部が公表している臨床実習シラバスを参照・解析し、必要に応じて臨床実習担当者に問合せを行うことで解析に要する時間の短縮を図った。その結果、153項目からなる共通評価項目が策定されるとともに、それらの項目と臨床研修の到達目標のうちC領域の各項目との関連付けが示された。

A. 研究目的

平成18年度の歯科医師臨床研修制度必修化後、臨床実習と臨床研修のシームレスな連携の必要性が長く指摘されてきた。平成22年度に実施された歯学教育モデル・コア・カリキュラムの改訂にあわせ、翌年には「診療参加型臨床実習・臨床研修連携手帳」が呈示され、平成25年にはそれを元に開発された電子版臨床実習・臨床研修連携ログブック (e-logbook) がリリースされた。e-logbookは当初から臨床実習から臨床研修にかけて一貫して使用できることを目指して開発され、臨床実習においては多くの大学歯学部・歯科大学に導入されているが、臨床研修での利用はほとんど進んでいない。その理由として、e-logbookでは臨床研修の到達目標に対する評価が困難であった事に加え、設定されている評価項目が臨床実習での実績が中心となっていることが考えられる。すなわち、臨床実習と臨床研修において一貫して使用できる評価システムを開発するためには、そのシステムに搭載される評価項目の設定がその成否を左右するといえる。

そこで本研究では、全国の歯科大学・歯学部を対象

として臨床実習の実施形態および評価方法等について実態調査を行い、各大学が共通して使用できる臨床実習の評価内容及び評価方法を整理するとともに、先行研究である「シームレスな歯科医師養成に向けた歯科医師臨床研修の評価についての研究」の研究成果を踏まえ、共通評価項目の策定を目的として実施した。

B. 研究方法

本研究では、まず、29の歯科大学・歯学部が公開している臨床実習に関するシラバスを調査対象とし、シラバスに記載された臨床実習修了のために要求される症例の各項目を調査・集計した。さらに、必要に応じて臨床実習担当者に詳細を問合わせることにより、臨床実習における学習項目一覧を作成した。一方、先行研究である「シームレスな歯科医師養成に向けた歯科医師臨床研修の評価についての研究」の研究成果から、臨床研修における評価項目一覧を抽出した。その上で、両者を比較・検討することによって、臨床研修修了に必要な症例項目一覧を作成した。

さらに、先行研究にて示された「歯科医師臨床研修

評価ガイドライン」(以下、評価ガイドライン)にて示された評価の視点・観点を参考として、臨床研修の到達目標のうちC領域の各項目と策定した共通評価項目との関連性を検討し、両者の紐付けルールを作成した。

(倫理面への配慮)

本研究実施にあたっては、特に臨床実習の実態調査において、各個人に関わる情報あるいは各大学に関わる情報については一切取り扱わないよう徹底することで、倫理面に対して万全の配慮を行った。

C. 研究結果

各大学のシラバスから抽出した評価項目を診療内容ごとに分類し、さらに先行研究である「シームレスな歯科医師養成に向けた歯科医師臨床研修の評価についての研究」において評価の視点・観点として例示されている評価項目と照合することによって、別添資料1に示したとおり153項目の共通項目を作成した。これら153項目を策定するにあたり、項目間の粒度の差が可能な限り小さくなるよう努めたが、様々な条件下にある多くの施設にて利用可能であることを優先させた結果、それらの差を埋めることは非常に困難であった。

さらに、これらの学習項目と歯科医師臨床研修の研修目標のC領域との関連付けを検討した。その結果、別添資料2に示すとおり各々の研修目標に対して1~26個の学習項目が関連付けられた。

D. 考察

臨床実習から臨床研修へとシームレスに活用できるシステムを構築するにあたって、学習項目の設定は非常に重要である。そこで、本研究では各大学が公開しているシラバスを参照し、臨床実習における標準的な学習項目の作成を目指した。臨床実習における実態調査の調査として、各大学にアンケートを送付して回答を求める方法も考えられるが、調査に与えられた期間が十分ではないこと、アンケートによる回答の信頼性を確認するためにはシラバスの調査が必要となることを踏まえ、本研究ではシラバスによる調査を中心とし、必要に応じて各大学の臨床実習担当者に問合せることとした。この方法を採用することで、短期間に比較的信頼性の高い評価項目一覧を作成できたものと考えている。

今回策定された共通評価項目では、その項目の粒度が必ずしも一定していない。すなわち、1つの評価項目に含まれる診療処置の数が1~数個と一定しておらず、それが評価結果に影響を及ぼす可能性が考えられる。本件は学習者の経験した症例数から研修修了に必要な症例数を自動的に計算できるシステムを構築する際には問題となってくる。一方で、現在の臨床研修の到達目標に掲げられた各項目は、様々な地域、様々な規模の研修施設にて共通で利用できる

よう、大雑把なくくりとなっており、さらに研修修了に必要な症例数、さらには症例数のカウント方法が研修施設に委ねられていることから、研修修了に必要な症例数を系統的に自動計算することは困難であると思われる。すなわち、修了に必要な症例数決定時には指導医の裁量による判断が必要となることから、共通評価項目の粒度にある程度の幅があっても大きな影響にはならないと思われる。そこで、今回の検討では、必ずしも共通評価項目の粒度を揃えることには注力していない。しかし、この判断が妥当であったか否かについては、臨床研修の現場にて開発されたシステムを運用し、その結果により改めて判断が必要であると考えている。

E. 結論

29大学のシラバスによる臨床実習の実態調査および臨床実習担当者への照会によって臨床実習との連携を意識した共通の評価項目を策定した。

F. 健康危険情報

該当なし

G. 研究発表

なし

H. 知的財産権の出願・登録状況

なし

(資料1) 臨床実習と臨床研修の共通評価項目

連携用IDが185以上の各項目は、評価ガイドラインにて示された評価の視点・観点に基づいて追加設定した項目を示す。

整列用ID	連携用ID	大項目	中項目	小項目
1101	1	医療面接	医療面接	病歴聴取
1102	2			問題点抽出
1103	3			診療録記載
1104	4			診断結果説明
1105	185			治療計画立案
1106	5			治療方針説明
2101	6	診察の基本	バイタルサイン	血圧測定
2102	7			脈拍測定
2201	8		頭頸部の診察	顔貌の観察
2202	9			顎関節の観察
2203	10			筋の診察
2204	11			リンパ節の診察
2301	12		口唇・口腔内の診察	口唇の診察
2302	13			口腔内診察
2303	15			嚙形印象
2304	16			研究模型の作製
2401	186		医療安全・感染予防	医療安全
2402	187			感染予防
2501	188		チーム医療	歯科衛生士との協働
2502	189			歯科技工指示書
2503	190			処方箋作成
2504	191			医療連携
2601	192		リハビリ	口腔機能訓練
2701	193		保険診療	レセプト作成
3101	19	画像検査	デンタル撮影法	部位選択
3102	20			撮影法選択
3103	21			撮影枚数選択
3104	22			必要性説明
3105	23			放射線防護
3106	24			撮影
3107	26			読影
3108	27			結果説明
3201	194		パノラマエックス線撮影法	必要性説明
3202	195			放射線防護
3203	196			撮影
3204	197			読影
3205	198			結果説明
3301	199		CBCT.MDCT	必要性説明
3302	200			読影
3303	201			結果説明
4101	227	その他検査	歯内療法	歯髄電気診
4102	228			その他歯髄検査
4103	82			EMR
4201	89		歯周治療	歯周組織検査
4301	229		補綴系検査	咬合検査
4302	230			顎運動関連検査
4303	231			咀嚼能力検査
4304	232			口腔機能低下症の検査
5101	31	地域医療	地域医療	地域医療
5102	202			多職種連携
5103	203			周術期口腔管理
5104	240			歯科検診
6101	35	口腔外科	単純抜歯	清潔操作
6102	36			器材準備
6103	37			滅菌手袋装着
6104	38			術野消毒
6105	204			局所麻酔
6106	41			単純抜歯
6201	205		口唇・口腔内小手術	清潔操作
6202	206			器材準備
6203	207			滅菌手袋装着
6204	208			術野消毒
6205	209			局所麻酔
6206	210			小手術の実施
6301	211		入院症例	入院症例
7101	234	保存修復	う蝕処置	う蝕処置
7102	44		コンポジットレジン修復(単純)	診察
7103	45			診断
7104	46			治療法選択
7105	47			形成
7106	48			充填
7107	49			研磨
7201	50		コンポジットレジン修復(複雑)	診察
7202	51			診断
7203	53			治療法選択
7204	54			形成
7205	55			隔壁
7206	56			充填
7207	57			研磨

整列用ID	連携用ID	大項目	中項目	小項目
7301	58		インレー修復	診察
7302	59			診断
7303	60			治療法選択
7304	61			形成
7305	62			印象採得
7306	63			咬合採得
7307	64			仮封
7308	65			試適
7309	66			調整
7310	67			装着
7401	69		象牙質知覚過敏処置	象牙質知覚過敏処置
7402	70		歯の漂白・変色歯の処置	歯の漂白・変色歯の処置
7501	71	歯内療法	覆髄、断髄等	覆髄法
7501	72			断髄法
7503	73			IPC
7504	74			アペキシフィケーション
7601	80		根管治療	フバーダム
7602	81			髄腔開拓
7603	83			根管拡大
7604	84			根管洗浄
7605	85			根管粘着
7606	86			根管充填
7607	87			予後観察
7701	90	歯周治療	歯周基本治療	診断
7702	91			治療計画
7703	92			プラークコントロール指導
7704	233			PMTC
7705	93			スケーリング
7706	94			ルートプレーニング
7707	95			生活習慣指導
7708	96			暫間固定
7709	97			リコール説明
7801	98		メンテナンス	メンテナンス
7901	99		歯周外科手術	歯周外科手術
8101	103	補綴	クラウン・ブリッジ	支台築造
8102	104			形成
8103	105			印象採得
8104	106			咬合採得
8105	107			暫間補綴
8106	108			試適
8107	109			調整
8108	110			装着
8109	112			補綴装置等の除去
8110	235			補綴装置等の脱離
8201	116		可撤性床義歯	設計
8202	115			治療計画
8203	117			前処置
8204	118			筋圧形成
8205	119			印象採得
8206	120			咬合採得
8207	121			入口歯選択
8208	122			軋義歯試適
8209	123			装着
8210	212			装着時の患者指導
8211	126			義歯調整
8212	127			義歯修理
8301	128		インプラント	インプラント
8401	129		顎関節症	顎関節症
8501	237		高齢者に対する治療	高齢者への治療の実践
9101	213	専門治療、他	小児歯科	フッ化物塗布
9102	214			予防填塞
9103	215			乳歯冠修復
9104	216			乳歯抜歯
9105	217			保衛装置の製作
9106	218			保護者へのブラッシング指導
9201	238		障害者歯科	障害者に対する歯科治療
9301	219		矯正歯科	成長期症例の診察
9302	220			矯正装置の説明
9303	221			検査・診断・計画
9304	222			矯正装置の製作
9401	223		歯科麻酔	局所麻酔
9402	224			全身麻酔症例
9403	225			ベインクリニク
9501	226		放射線	放射線治療
9601	236		救急処置	急性症状への対応
9701	239		保健所	保健所での見学研修

(資料2) C領域の到達目標と共通評価項目の紐付け

C. 基本的診療業務

1. 基本的診療能力等

到達目標	評価の視点および観点	連携用ID
(1) 基本的診察・検査・診断・診療計画		
① 患者の心理的・社会的背景を考慮した上で、適切に医療面接を実施する。(必修)	初診時医療面接、再診時医療面接など	1,3
② 全身状態を考慮した上で、顔顔面及び口腔内の基本的な診察を実施し、診察所見を解釈する。(必修)	口腔内診察、頭頸部診察、各種臨床検査の必要性の判断など	6,7,8,9,10,11,12,13
③ 診察所見に応じた適切な検査を選択、実施し、検査結果を解釈する。(必修)	エックス線検査、咬合検査、顎運動関連検査、咀嚼能力検査、歯周組織検査、歯髄電気診、口腔機能低下症の検査など	19,20,21,22,23,24,25,26,27,194,195,196,197,198,199,200,201,227,228,82,89,229,230,231,232
④ 病歴聴取、診察所見及び検査結果に基づいて歯科疾患の診断を行う。(必修)	担当患者の診断に関する口頭試問、カンファレンスへの参加など	2,4
⑤ 診断結果に基づき、患者の状況・状態を総合的に考慮した上で、考え得る様々な一口腔単位の診療計画を検討し、立案する。(必修)	治療計画に関するカンファレンス参加、プロトコル作成など	185
⑥ 必要な情報を整理した上で、わかりやすい言葉で十分な説明を行い、患者及び家族の意思決定を確認する。(必修)	患者への病状説明、インフォームド・コンセント、セカンドオピニオンへの理解、同意書の取得など	4,185,5
(2) 基本的臨床技能等		
① 歯科疾患を予防するための口腔衛生指導、基本的な手技を実践する。(必修)	口腔衛生指導、フッ化物の塗布、PMTC、歯冠研磨など	92,213,214,233
② 一般的な歯科疾患に対応するために必要となる基本的な治療及び管理を実践する。(必修)		
a.歯の硬組織疾患	う蝕処置、コンポジットレジン修復、インレー修復など	234,44,45,46,47,48,49,50,51,53,54,55,56,57,58,59,60,61,62,63,54,65,66,67,69,223
b.歯髄疾患	覆髄、接髄、感染根管処置など	71,72,73,74,80,81,83,84,85,86,87
c.歯周病	歯周基本治療(スケーリング・ルートプレーニング、TBI、咬合調整、暫間固定)など	90,91,92,93,94,95,96,97,98,99
d.口腔外科疾患	抜歯、消炎処置、切開、縫合など	35,36,37,38,204,41,205,206,207,208,209,210
e.歯質と歯の欠損	歯冠補綴、欠損補綴など	103,104,105,106,107,108,109,110,112,116,117,118,119,120,121,122,123,212,126
f.口腔機能の発達不全、口腔機能の低下	口腔機能管理、口腔機能訓練の指導など	192
③ 基本的な応急処置を実践する。(必修)	急性症状、修復物脱落、歯齦破損などへの対応など	236,235,127
④ 歯科診療を安全に行うために必要なバイタルサインを観察し、全身状態を評価する。(必修)	バイタルサインの測定など	6,7
⑤ 診療に関する記録や文書(診療録、処方せん、歯科技工指示書等)を作成する。(必修)	診療録の記載、技工指示書、診療情報提供書の記載など	3,189,190,191,193
⑥ 医療事故の予防に関する基本的な対策について理解し、実践する。(必修)	インシデントレポートの意義の説明、記載など	186
(3) 患者管理		
① 歯科治療上問題となる全身的な疾患、服用薬剤等について説明する。(必修)	セミナーへの参加、レポートの作成、全身疾患や服用薬剤に関する理解、お薬手帳の内容確認など	1
② 患者の医療情報等について、必要に応じて主治の医師等と診療情報を共有する。(必修)	関連医療機関との診療情報の共有など	191
③ 全身状態に配慮が必要な患者に対し、歯科治療中にバイタルサインのモニタリングを行う。(必修)	術前・中・後のバイタルサインの確認、全身管理計画の立案など	211,224
④ 歯科診療時の主な併発症や偶発症への基本的な対応法を実践する。(必修)	軟組織の損傷、誤飲・誤嚥、BLSの実施(シミュレータでも可)、バイタルサインの解釈、全身状態の評価など	186
⑤ 入院患者に対し、患者の状態に応じた基本的な術前・術後管理及び療養上の管理を実践する。(選択)	担当患者に対する療養上の管理など	211
(4) 患者の状態に応じた歯科医療の提供		
① 妊娠期、乳幼児期、学齢期、成人期、高齢期の患者に対し、各ライフステージに応じた歯科疾患の基本的な予防管理、口腔機能管理について理解し、実践する。(必修)	患者のライフステージに応じた総合診療計画の立案など	213,214,215,216,217,218,237
② 各ライフステージ及び全身状態に応じた歯科医療を実践する。(必修)	小児、成人、高齢者それぞれの治療の実践など	213,214,215,216,217,218,237
③ 在宅療養患者等に対する訪問歯科診療を経験する。(選択)	訪問歯科診療への同行、口腔衛生管理など	31,202
④ 障害を有する患者への対応を実践する。(選択)	障害者歯科治療の体験など	238

2. 基本的診療能力等

到達目標	評価の視点および観点	連携用ID
(1) 歯科専門職間の連携		
① 歯科衛生士の役割を理解し、予防処置や口腔衛生管理等の際に連携を図る。(必修)	歯科衛生士との協働など	188
② 歯科技工士の役割を理解し、適切に歯科技工指示書を作成するとともに、必要に応じて連携を図る。(必修)	技工指示書の作成と歯科技工士への依頼など	189
③ 多職種によるチーム医療について、その目的、各職種の役割を理解した上で、歯科専門職の役割を理解し、説明する。(必修)	連携口腔ケア、NSTへの参加など	188,189,190,191
(2) 多職種連携、地域医療		
① 地域包括ケアシステムについて理解し、説明する。(必修)	地域包括ケアセンターのレクチャー、見学など	31,202
② 地域包括ケアシステムにおける歯科医療の役割を説明する。(必修)	在宅歯科医療、地域歯科医療についてのレクチャー、見学など	31,202
③ 在宅療養患者や介護施設等の入所者に対する介護関係職種が関わる多職種チームについて、チームの目的を理解し、参加する。(選択)	連携口腔ケア、NST、高齢者福祉施設への訪問歯科などへの参加など	31,202
④ 訪問歯科診療の実施にあたり、患者に関わる医療・介護関係職種の役割を理解し、連携する。(選択)	訪問歯科診療での医療・介護関係職種との連携など	202
⑤ 離島やへき地における地域医療を経験する。(選択)	離島、へき地診療の同行、見学など	31
⑥ がん患者等の周術期等口腔機能管理において、その目的及び各専門職の役割を理解した上で、多職種によるチーム医療に参加し、基本的な口腔機能管理を経験する。(選択)	周術期等口腔管理において、チーム医療への参加など	203
⑦ 歯科専門職が関与する多職種チーム(例えば栄養サポートチーム、摂食嚥下リハビリテーションチーム、口腔ケアチーム等)について、その目的及び各専門職の役割を理解した上で、チーム医療に参加し、関係者と連携する。(選択)	連携口腔ケア、NST、ICT、高齢者福祉施設への訪問診療に参加など	202
⑧ 入院患者の入院時における多職種支援について理解し、参加する。(選択)	退院支援チームへの参加など	211
(3) 地域保健		
① 地域の保健・福祉の関係機関、関係職種を理解し、説明する。(必修)	セミナーへの参加、保健所での見学など	239
② 保健所等における地域歯科保健活動を理解し、説明する。(必修)	セミナーへの参加、保健所での見学など	239
③ 保健所等における地域歯科保健活動を体験する。(選択)	セミナーへの参加、保健所での見学など	239
④ 歯科健診を経験し、地域住民に対する健康教育を経験する。(選択)	学校歯科検診への参加など	240
(4) 歯科医療提供に関連する制度の理解		
① 医療法や歯科医師法をはじめとする医療に関する法規及び関連する制度の目的と仕組みを理解し、説明する。(必修)	セミナーへの参加、関連法規の理解など	
② 医療保険制度を理解し、適切な保険診療を実践する。(必修)	保険制度に関するセミナーへの参加、保険診療への参加、保険点数の算定など	193
③ 介護保険制度の目的と仕組みを理解し、説明する。(必修)	セミナーへの参加、訪問歯科診療への参加、介護保険制度の理解など	31,202

分担研究報告書

評価システムの仕様の検討とシステムの開発

研究分担者 木内 貴弘 (東京大学教授)
研究協力者 奥原 剛 (東京大学)
岡田 宏子 (東京大学)

研究要旨

初年度である令和3年度は、e-logbookの個別症例データをDEBUT2に取り込んで、DEBUT2側で集計・表示するために、症例データの送受信に必要なDEBUT2とe-logbookとのデータ交換規約をJSON形式で作成した。そして、DEBUT2側の症例データ受信インターフェイスソフトウェアの開発を行った(e-logbook側の症例データ送信インターフェイスソフトウェアは、研究代表者らによって開発を行われた)。研修歯科医のe-logbookへのログインには、UMIN IDを用い、利用者がDEBUT2画面からe-logbook画面への移行する場合には、Single Sign On技術を用いることによって、シームレスに行えるようにした(DEBUT2側の開発は、分担研究者木内により、e-logbook側の開発は、研究代表者長島らによって行われた)。本研究に成果により、e-logbookの症例データをDEBUT2に取り込むことが可能となり、到達目標を評価するための参考として症例データを活用することが可能となり、DEBUT2利用者に大きなメリットをもたらした。

A. 研究目的

歯科臨床研修制度改定後の現在、歯科臨床研修医の臨床教育の評価及び経験した症候・手技の経験の状況を全国集計することは、個々の歯科研修医の研修の状況の把握に役立つだけでなく、歯科臨床研修制度の在り方、制度設計のために不可欠の重要な資料となる。このため、円滑な厚生労働行政の実施のための非常に有用である[1,2]。

研究開始初年度の令和4年度における本研究の目的は、既存の歯科臨床研修評価システムDEBUT2と歯科症例データ登録システムe-logbookを接続することによって、DEBUT2の到達目標の評価に際し、e-logbookの症例データの集計結果を参考資料として活用できるようにすることにある。

B. 研究方法

e-logbookから個別症例データをDEBUT2に取り込んで、DEBUT2側で集計・表示する方式を採用した。このために症例データの送受信に必要なDEBUT2とe-logbookとのデータ交換規約をJSON形式で作成した。そして、DEBUT2側の症例データ受信インターフェイスソフトウェアの開発を行った(e-logbook側の症例データ送信インターフェイスソフトウェアは、研究代表者らによって開発を行っ

た)。DEBUT2側の症例データ受信インターフェイスソフトウェア開発には、Python 3.6を用いた。

C. 結果

症例データ以外のすべての評価データは、DEBUT2上で入力され、症例データのみはe-logbook上で入力される(図)。研修歯科医のe-logbookへのログインには、UMIN IDを用い、利用者がDEBUT2画面からe-logbook画面への移行する場合には、Single Sign On技術を用いることによって、シームレスに行えるようにした(DEBUT2側の開発は、分担研究者木内により、e-logbook側の開発は、研究代表者長島らによって行われた)。即ち、DEBUT2画面上にあるe-logbookのリンクをクリックすると、そのまま直ちにe-logbookに接続されるようになっており、違うシステムを使っているという印象を抱かせないようになっている。策定した症例データ交換規約は、本研究報告書に添付した。e-logbook画面から入力された症例データは、e-logbookのデータベースに格納される。症例データ送信インターフェイスソフトウェアが、e-logbookのデータベースに格納された症例データを抽出して、DEBUT側に症例データ交換規約を用い

て、送信を行う（症例データ送信インターフェイスソフトウェアは、研究代表者の長島らにより開発されており、分担研究者の木内によるものではない）。DEBUT2側の症例データ受信インターフェイスソフトウェアが、e-logbookから送信された症例データを受信して、DEBUT2のデータベースに格納する（症例データ受信インターフェイスソフトウェアは、分担研究者の木内により開発された）。DEBUT2のデータベースに格納された症例データは、DEBUT2によって、抽出、集計、表示され、DEBUT2における到達目標の評価際に活用できる。

D. 考察

現在のDEBUT2では、到達目標の研修歯科医と指導医による評価、研修歯科医による指導歯科医評価、施設評価、研修プログラム評価を行う機能がある。

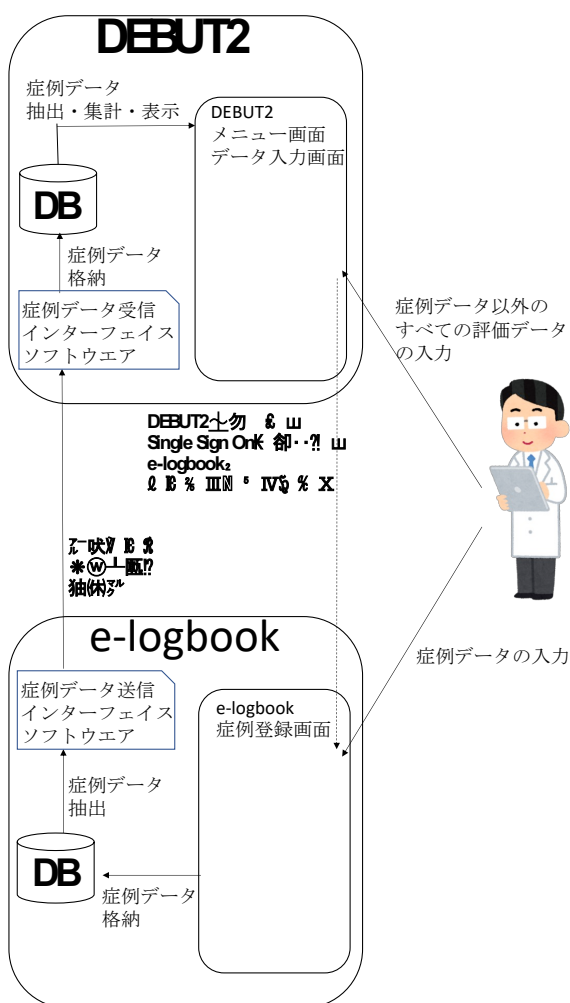


図. DEBUT2とe-logbook連携の概要

るが、症例データの登録機能を持っていない。一方、e-logbookは症例データ登録機能しかもっていない。本研究に成果により、e-logbookの症例データをDEBUT2に取り込むことが可能となり、到達

目標を評価するための参考として症例データを活用することが可能となり、DEBUT2利用者に大きなメリットをもたらした。DEBUT2の症例データ交換規約と症例データ受信機能によって、今後は、e-logbookに限定されず、様々な電子カルテや症例データベースからの症例データの取り込みと集計・表示が可能となり、今後のDEBUT2運用のための選択肢が増えた。

E. 文献

1. 厚生労働省. 歯科医師臨床研修の到達目標. 歯科医師法第十六条の二第一項に規定する臨床研修に関する省令の施行について (別添). 医政発 0331 第 75 号. 2021
2. 田口則宏、河野文昭、長島 正、一戸達也、新田浩、大澤銀子、秋葉奈美、岩下洋一郎. 歯科医師臨床研修評価ガイドライン. 令和 3 年度 厚生労働科学研究費補助金 (地域医療基盤開発推進研究事業) 新たな歯科医師臨床研修制度における評価方法の構築に向けた基盤研究. 2021 <https://w3.hal.kagoshima-u.ac.jp/dental/ippan/HyokaGuideLine.pdf>

G. 研究発表

論文発表
なし

学会発表
なし

H. 知的財産権の出願・登録状況
なし

(資料)

DEBUT2 症例データ交換規約仕様書 0.18 版 (2023 年 1 月 31 日)

国立大学病院長会議常置委員会
歯科部門オンライン歯科臨床研修 WG
大学病院医療情報ネットワーク協議会

更新履歴

更新日	版	主要更新内容
2022年11月24日	0.10	新規作成
2022年11月28日	0.11	(1)変数 time、date の追加 (2)症例 ID を症例経験 ID に変更 (3)外部情報システム ID の追加
2022年12月01日	0.12	(1)「国立大学附属病院長会議常置委員会 歯科部門 歯科医師臨床研修問題ワーキンググループ」に名称変更。 (2)歯科医師医籍番号の桁数を 10 桁に変更 (3)備考に 0 パディングである旨を追記
2022年12月07日	0.13	disease 配列をなくし、同配列内の code、level を通常の変数として追加
2022年12月16日	0.14	(1)日付と時間を分けずに統合 (2)日時を「研修歯科医が入力した日時」と「指導歯科医が承認した日時」とした
2022年12月20日	0.15	研修歯科医師が設定した実施日時を追加
2022年12月26日	0.16	一部 DB に設定不可の項目 ID があることが判明したので仕様書上の項目名を更新するとともに項目 ID と項目名を DEBUT2 側 DB に合わせた
2022年12月27日	0.17	(1)ファイル命名規則追加 (2)症例経験 ID の項目名の変更
2023年1月31日	0.18	症例が 1 件の時も複数の時と同様にリストとした

1 本仕様書について

国立大学附属病院長会議常置委員会 歯科部門 歯科医師臨床研修問題ワーキンググループ（以下、「歯科研修WG」という）と大学病院医療情報ネットワーク協議会（以下、「UMIN」という）では、令和4年度より、外部の情報システムで収集した歯科症例データをオンライン歯科臨床研修評価システム（以下、DEBUT2という）に送信して、指導歯科医が評価を行う際の参考資料とすることを目的に DEBUT2 症例データ交換規約を策定してきた。本仕様書では、歯科研修WGとUMINで合意した同規約の仕様について記述する。

2 症例データ交換の方式について

外部情報システムより、症例データをJSON形式のファイルで出力し、DEBUT2サーバ内の連携症例データ格納ディレクトリに送信するものとする。ファイルには複数件の症例データを格納可能とし、文字コードはUTF8を用いる。JSONファイル送信にあたっては、SCP公開鍵認証方式によるファイル転送方式を用いて、送信元の認証を行う。転送タイミングは、制約を設けず随時転送可能とする（注：当面の間、毎夜深夜に1度実施するものとする）。

DEBUT2では、連携症例データ格納ディレクトリに配置されたデータを、症例経験コード、評価レベル毎に件数を集計して、取り込む。取り込み処理実施は、随時可能とする（注：当面の間、毎夜深夜に1度実施するものとする）。研修歯科医は「医籍番号」を一意識別子とし、症例データは「症例経験ID」を一意識別子とする。「医籍番号」、「症例経験ID」、「外部情報システムID」の3項目の組み合わせを一意識別子として利用する。データ自体は「症例経験ID」と「外部情報システムID」で一意になるものの、評価データ自体が研修歯科医師を基本として関連付けられる情報であるから「医籍番号」、「症例経験ID」、「外部情報システムID」の3項目を一意識別子として利用し処理することとする。今後、必要に応じて、DEBUT2にJSONファイルのアップロードAPIの提供を検討する。

【参考】DEBUT2における受信したデータの処理方法

DEBUT2では、連携する症例データは2種類のデータとしてデータベースに登録する。

(ア) 連携症例データ本体

JSONファイルのデータをDEBUT2のデータベースに登録する。「医籍番号」と「症例経験ID」と「外部情報システムID」の組み合わせが合致する症例が未登録の場合は、新規症例として登録を行う。「医籍番号」と「症例経験ID」と「外部情報システムID」の組み合わせが合致する症例が登録済の場合は、「追加／削除区分」（後述）に応じて、上書き更新または削除する。削除の場合は、物理削除ではなく、論理削除を行う。

(イ) 症例経験数集計データ

症例経験項目ID、評価レベル毎に、以下の2項目を集計してデータベースに登録する。

- ① 研修期間すべての累積経験項目数
- ② 研修ブロック毎の経験項目数

3 症例データファイルの仕様について

3.1 症例データ記述のために用いるいくつかの注意すべきデータ項目について

(ア) 医籍番号

外部情報システム及びDEBUT2において、研修歯科医の医籍番号を一意識別子として用いる。DEBUT2へのログインにはUMINIDを用いるため、DEBUT2にUMINIDと医籍番号の対応付けのための情報をDEBUT2に付与しておく必要がある。

(イ) 症例経験ID

外部情報システムが自らのシステムに登録された症例経験を一意に識別するために付与するID。症例ではなく、症例経験であることに留意する。同じ症例に異なる症例経験は複数発生し得る。また同じ症例に対応する症例経験を抽出できるようなデータ項目の交換は想定されていない。「医籍番号」と「外部情報システムID」と症例経験IDで、既登録データの更新／削除を行うために用いる。そのため、外部情報システムIDと症例経験IDで一意になる文字列を採番する。

(ウ) 外部情報システムID

外部情報システムを一意識別子するため、歯科研修WGが外部情報システムに対して付与するID。

3.2 症例データファイルの仕様

○1 ファイル内に 1 件の場合

```
[
  {
    "iseki_no": 医籍番号,
    "case_experience_id": 症例経験 ID,
    "sys_id": 外部情報システム ID,
    "diagnosys_date": 研修歯科医が設定した実施日時",
    "input_date": 研修歯科医が入力した日時,
    "approval_date": 指導歯科医が承認した日時,
    "ctl_mode": 追加／削除区分,
    "case_code": 症例経験項目 ID,
    "case_level": 評価レベル,
  }
]
```

○1 ファイル内に複数件記述する場合

```
[
  {
    "iseki_no": 医籍番号,
    "case_experience_id": 症例経験 ID,
    "sys_id": 外部情報システム ID,
    "diagnosys_date": 研修歯科医が設定した実施日時",
    "input_date": 研修歯科医が入力した日時,
    "approval_date": 指導歯科医が承認した日時,
    "ctl_mode": 追加／削除区分,
    "case_code": 症例経験項目 ID,
    "case_level": 評価レベル,
  },
  {
    "iseki_no": 医籍番号,
    "case_experience_id": 症例経験 ID,
    "sys_id": 外部情報システム ID,
    "diagnosys_date": 研修歯科医が設定した実施日時",
    "input_date": 研修歯科医が入力した日時,
    "approval_date": 指導歯科医が承認した日時,
    "ctl_mode": 追加／削除区分,
    "case_code": 症例経験項目 ID,
    "case_level": 評価レベル,
  },
]
```

3.3 症例データファイルの項目説明

項目名	説明	型	長さ	備考
iseki_no	歯科医師医籍番号	char	10	歯科研修医を一意に識別 0 パディングする。 例: 「12345」は「0000012345」
case_experience_id	症例経験 ID	char	80	外部情報システム内で症例経験を一意に識別
sys_id	外部情報システム ID	char	3	外部情報システムを一意に識別
diagnosys_date	研修歯科医師が設定した日時	char	20	“YYYY/MM/DD HH:MM:SS”で表記。日付と時刻の間は半角空白で分ける。時刻は 24 時間表記
input_date	研修歯科医が入力した日時	char	20	形式は diagnosys_date に同じ
approval_date	指導歯科医が承認した日時	char	20	形式は diagnosys_date に同じ
ctl_mode	追加／削除区分	char	4	追加・更新／削除の区分 add: 追加・更新 del: 削除
case_code	症例経験項目 ID	char	4	症例コード,
case_level	評価レベル	char	2	評価レベル 1: 見学, 2: 介助, 3: 自験

3.4 症例データファイルの命名仕様

日次処理ではあるが再送時も考慮しファイル名が重複しない構造とする。

(ア)接頭子

生成された外部情報システムを識別可能な外部情報システム毎に異なる 3 文字のコードをファイル名先頭につける。例えば接頭子は「ELB」とする。

(イ)ファイル名の構造

ファイル名として 3 文字の接頭子とファイルの生成日時をもとにした年月日時刻とする。時刻は 24 時間表記として日付と時間の間は「_」(半角下線)で区切る。例えばファイルの生成タイミングが 2022 年 12 月 27 日の 22 時 22 分 22 秒だとすると「ELB20221227_222222.json」とする。

(ウ)生成タイミング

ファイル名の重複を避けるために症例データファイルの生成は前回生成時から最低でも 1 秒以上間隔を空ける。

【参考】DEBUT2 での症例経験項目数の利用方法

診療ブロック毎の症例経験数と累積経験数は、指導歯科医が C 領域の評価を行う際に、評価項目毎に表示する。指導歯科医は表示された集計結果を参照して、「認定症例」数を入力することができる。

(例)

① 患者の心理的・社会的背景を考慮した上で、適切に医療面接を実施する。(必修):(5 症例)

認定症例数	[]	←指導歯科医が手入力
病歴聴取	自験:6 介助:2 見学:1	←自動集計
診療録記載	自験:3 介助:4 見学:2	←自動集計

研究成果の刊行に関する一覧表

本研究成果について、現時点では書籍、雑誌とも未刊行です。

書籍

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の編集者名	書籍名	出版社名	出版地	出版年	ページ

雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年

厚生労働大臣
(国立医薬品食品衛生研究所長) 殿
(国立保健医療科学院長)

機関名 国立大学法人大阪大学

所属研究機関長 職名 歯学部長

氏名 今里 聡

次の職員の令和4年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

1. 研究事業名 政策科学総合研究事業（臨床研究等 ICT 基盤構築・人工知能実装研究事業）
2. 研究課題名 歯学教育及び歯科医師臨床研修において一貫して利用できるオンライン評価システムの開発に関する研究（22AC1001）
3. 研究者名 （所属部署・職名） 歯学部附属歯学教育開発センター・教授
（氏名・フリガナ） 長島 正・ナガシマ タダシ

4. 倫理審査の状況

	該当性の有無		左記で該当がある場合のみ記入（※1）		
	有	無	審査済み	審査した機関	未審査（※2）
人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（※3）	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
その他、該当する倫理指針があれば記入すること (指針の名称：)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>

（※1）当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他（特記事項）

（※2）未審査に場合は、その理由を記載すること。

（※3）廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」、「臨床研究に関する倫理指針」、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

5. 厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 <input checked="" type="checkbox"/> 未受講 <input type="checkbox"/>
-------------	---

6. 利益相反の管理

当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由：)
当研究機関におけるCOI委員会設置の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合は委託先機関：)
当研究に係るCOIについての報告・審査の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由：)
当研究に係るCOIについての指導・管理の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> (有の場合はその内容：)

（留意事項） ・該当する□にチェックを入れること。
・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

2023年 3月 17日

厚生労働大臣
(国立医薬品食品衛生研究所長) 殿
(国立保健医療科学院長)

機関名 国立大学法人鹿児島大学

所属研究機関長 職名 学長

氏名 佐野 輝

次の職員の令和4年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

- 研究事業名 政策科学総合研究事業（臨床研究等 ICT 基盤構築・人工知能実装研究事業）
- 研究課題名 歯学教育及び歯科医師臨床研修において一貫して利用できるオンライン評価システムの開発に関する研究（22AC1001）
- 研究者名（所属部署・職名） 医歯学総合研究科・教授
(氏名・フリガナ) 田口 則宏・タグチノリヒロ

4. 倫理審査の状況

	該当性の有無		左記で該当がある場合のみ記入（※1）		
	有	無	審査済み	審査した機関	未審査（※2）
人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（※3）	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
その他、該当する倫理指針があれば記入すること (指針の名称：)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>

(※1) 当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他（特記事項）

(※2) 未審査に場合は、その理由を記載すること。

(※3) 廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」、「臨床研究に関する倫理指針」、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

5. 厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 <input checked="" type="checkbox"/> 未受講 <input type="checkbox"/>
-------------	---

6. 利益相反の管理

当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究機関におけるCOI委員会設置の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合は委託先機関:)
当研究に係るCOIについての報告・審査の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究に係るCOIについての指導・管理の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> (有の場合はその内容:)

(留意事項) ・該当する□にチェックを入れること。
・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

厚生労働大臣
(国立医薬品食品衛生研究所長) 殿
(国立保健医療科学院長)

機関名 北海道医療大学

所属研究機関長 職名 学長

氏名 浅香 正博

次の職員の令和4年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

1. 研究事業名 政策科学総合研究事業（臨床研究等 ICT 基盤構築・人工知能実装研究事業）
2. 研究課題名 歯学教育及び歯科医師臨床研修において一貫して利用できるオンライン評価システムの開発に関する研究（22AC1001）
3. 研究者名（所属部署・職名） 歯学部・教授
(氏名・フリガナ) 長澤 敏行 (ナガサワ トシユキ)

4. 倫理審査の状況

	該当性の有無		左記で該当がある場合のみ記入 (※1)		
	有	無	審査済み	審査した機関	未審査 (※2)
人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針 (※3)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
その他、該当する倫理指針があれば記入すること (指針の名称:)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>

(※1) 当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他 (特記事項)

(※2) 未審査に場合は、その理由を記載すること。

(※3) 廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」、「臨床研究に関する倫理指針」、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

5. 厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 <input checked="" type="checkbox"/> 未受講 <input type="checkbox"/>
-------------	---

6. 利益相反の管理

当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究機関におけるCOI委員会設置の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合は委託先機関:)
当研究に係るCOIについての報告・審査の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究に係るCOIについての指導・管理の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> (有の場合はその内容:)

(留意事項) ・該当する□にチェックを入れること。
・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

厚生労働大臣 殿

機関名 国立大学法人東京医科歯科大学

所属研究機関長 職 名 学長

氏 名 田 中 雄 二 郎

次の職員の令和4年度 厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

1. 研究事業名 政策科学総合研究事業（臨床研究等 ICT 基盤構築・人工知能実装研究事業）
2. 研究課題名 歯学教育及び歯科医師臨床研修において一貫して利用できるオンライン評価システムの開発に関する研究
3. 研究者名 (所属部署・職名) 大学院医歯学総合研究科 ・ 教授
(氏名・フリガナ) 新田 浩 ・ ニッタ ヒロシ

4. 倫理審査の状況

	該当性の有無		左記で該当がある場合のみ記入 (※1)		
	有	無	審査済み	審査した機関	未審査 (※2)
人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針 (※3)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
その他、該当する倫理指針があれば記入すること (指針の名称:)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>

(※1) 当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他 (特記事項)

(※2) 未審査に場合は、その理由を記載すること。

(※3) 廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」、「臨床研究に関する倫理指針」、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

5. 厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 <input checked="" type="checkbox"/> 未受講 <input type="checkbox"/>
-------------	---

6. 利益相反の管理

当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究機関におけるCOI委員会設置の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合は委託先機関:)
当研究に係るCOIについての報告・審査の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究に係るCOIについての指導・管理の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> (有の場合はその内容:)

(留意事項) ・該当する□にチェックを入れること。
・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

令和 5 年 3 月 31 日

厚生労働大臣
(国立医薬品食品衛生研究所長) 殿
(国立保健医療科学院長)

機関名 日本歯科大学

所属研究機関長 職名 学長

氏名 藤井 一維

次の職員の令和 4 年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

- 研究事業名 政策科学総合研究事業（臨床研究等 ICT 基盤構築・人工知能実装研究事業）
- 研究課題名 歯学教育及び歯科医師臨床研修において一貫して利用できるオンライン評価システムの開発に関する研究（22AC1001）
- 研究者名（所属部署・職名） 日本歯科大学附属病院 総合診療科・准教授
(氏名・フリガナ) 大澤 銀子 (オオサワ ギンコ)

4. 倫理審査の状況

	該当性の有無		左記で該当がある場合のみ記入（※1）		
	有	無	審査済み	審査した機関	未審査（※2）
人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（※3）	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
その他、該当する倫理指針があれば記入すること (指針の名称：)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>

（※1）当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他（特記事項）

（※2）未審査の場合は、その理由を記載すること。

（※3）廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」、「臨床研究に関する倫理指針」、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

5. 厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 <input checked="" type="checkbox"/> 未受講 <input type="checkbox"/>
-------------	---

6. 利益相反の管理

当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由：)
当研究機関におけるCOI委員会設置の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合は委託先機関：)
当研究に係るCOIについての報告・審査の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由：)
当研究に係るCOIについての指導・管理の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> (有の場合はその内容：)

(留意事項) ・該当する□にチェックを入れること。
・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

2023年 3月 7日

厚生労働大臣
(国立医薬品食品衛生研究所長) 殿
(国立保健医療科学院長)

機関名 国立大学法人 新潟大学

所属研究機関長 職名 学長

氏名 牛木 辰男

次の職員の令和4年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

1. 研究事業名 政策科学総合研究事業（臨床研究等 ICT 基盤構築・人工知能実装研究事業）
2. 研究課題名 歯学教育及び歯科医師臨床研修において一貫して利用できるオンライン評価システムの開発に関する研究（22AC1001）
3. 研究者名（所属部署・職名） 新潟大学歯学部 助教
(氏名・フリガナ) 秋葉 奈美

4. 倫理審査の状況

	該当性の有無		左記で該当がある場合のみ記入（※1）		
	有	無	審査済み	審査した機関	未審査（※2）
人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（※3）	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
その他、該当する倫理指針があれば記入すること (指針の名称：)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>

(※1) 当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他（特記事項）

(※2) 未審査に場合は、その理由を記載すること。

(※3) 廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」、「臨床研究に関する倫理指針」、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

5. 厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 <input checked="" type="checkbox"/> 未受講 <input type="checkbox"/>
-------------	---

6. 利益相反の管理

当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由：)
当研究機関におけるCOI委員会設置の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合は委託先機関：)
当研究に係るCOIについての報告・審査の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由：)
当研究に係るCOIについての指導・管理の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> (有の場合はその内容：)

(留意事項) ・該当する□にチェックを入れること。
・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

厚生労働大臣
(国立医薬品食品衛生研究所長) 殿
(国立保健医療科学院長)

機関名 国立大学法人九州大学

所属研究機関長 職名 総長

氏名 石橋 達朗

次の職員の令和4年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

1. 研究事業名 政策科学総合研究事業（臨床研究等 ICT 基盤構築・人工知能実装研究事業）
2. 研究課題名 歯学教育及び歯科医師臨床研修において一貫して利用できるオンライン評価システムの開発に関する研究（22AC1001）
3. 研究者名 （所属部署・職名） 歯学研究院・教授
（氏名・フリガナ） 和田 尚久（ワダ ナオヒサ）

4. 倫理審査の状況

	該当性の有無		左記で該当がある場合のみ記入（※1）		
	有	無	審査済み	審査した機関	未審査（※2）
人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（※3）	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
その他、該当する倫理指針があれば記入すること (指針の名称：)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>

（※1）当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他（特記事項）

（※2）未審査に場合は、その理由を記載すること。

（※3）廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」、「臨床研究に関する倫理指針」、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

5. 厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 <input checked="" type="checkbox"/> 未受講 <input type="checkbox"/>
-------------	---

6. 利益相反の管理

当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由：)
当研究機関におけるCOI委員会設置の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合は委託先機関：)
当研究に係るCOIについての報告・審査の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由：)
当研究に係るCOIについての指導・管理の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> (有の場合はその内容：)

（留意事項） ・該当する□にチェックを入れること。
・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

令和5年3月30日

厚生労働大臣 殿

機関名 国立大学法人東京大学

所属研究機関長 職名 学長

氏名 藤井 輝夫

次の職員の令和4年度厚生労働科学研究費補助金の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

1. 研究事業名 政策科学総合研究事業（臨床研究等 ICT 基盤構築・人工知能実装研究事業）
2. 研究課題名 歯学教育及び歯科医師臨床研修において一貫して利用できる
オンライン評価システムの開発に関する研究（22AC1001）
3. 研究者名（所属部署・職名） 医学部附属病院・教授
（氏名・フリガナ） 木内 貴弘・キウチ タカヒロ

4. 倫理審査の状況

	該当性の有無		左記で該当がある場合のみ記入（※1）		
	有	無	審査済み	審査した機関	未審査（※2）
人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（※3）	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
その他、該当する倫理指針があれば記入すること (指針の名称：)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>

（※1）当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他（特記事項）

（※2）未審査に場合は、その理由を記載すること。

（※3）廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」、「臨床研究に関する倫理指針」、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

5. 厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 <input checked="" type="checkbox"/> 未受講 <input type="checkbox"/>
-------------	---

6. 利益相反の管理

当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究機関におけるCOI委員会設置の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合は委託先機関:)
当研究に係るCOIについての報告・審査の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究に係るCOIについての指導・管理の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> (有の場合はその内容:)

（留意事項） ・該当する□にチェックを入れること。
・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

厚生労働大臣
(国立医薬品食品衛生研究所長) 殿
(国立保健医療科学院長)

機関名 国立大学法人大阪大学

所属研究機関長 職名 歯学部附属病院長

氏名 林 美加子

次の職員の令和4年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

1. 研究事業名 政策科学総合研究事業（臨床研究等 ICT 基盤構築・人工知能実装研究事業）
2. 研究課題名 歯学教育及び歯科医師臨床研修において一貫して利用できるオンライン評価システムの開発に関する研究（22AC1001）
3. 研究者名 （所属部署・職名） 口腔総合診療部・准教授
（氏名・フリガナ） 野崎 剛徳・ノザキ タケノリ

4. 倫理審査の状況

	該当性の有無		左記で該当がある場合のみ記入（※1）		
	有	無	審査済み	審査した機関	未審査（※2）
人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（※3）	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
その他、該当する倫理指針があれば記入すること （指針の名称：）	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>

（※1）当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他（特記事項）

（※2）未審査の場合は、その理由を記載すること。

（※3）廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」、「臨床研究に関する倫理指針」、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

5. 厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 <input checked="" type="checkbox"/> 未受講 <input type="checkbox"/>
-------------	---

6. 利益相反の管理

当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> （無の場合はその理由：）
当研究機関におけるCOI委員会設置の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> （無の場合は委託先機関：）
当研究に係るCOIについての報告・審査の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> （無の場合はその理由：）
当研究に係るCOIについての指導・管理の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> （有の場合はその内容：）

（留意事項） ・該当する□にチェックを入れること。
・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。